

講義コード	11C0130600	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	元木 靖	開講期	第2期
科目名	特殊講義6<地域環境学2>					元木 靖		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	人びとが経済活動を行い、生きる場としての「地域」について概説します。具体的な事例として、日本の中の「関東」（地方）を環境・文明史の立場からとりあげ、関東が今日のように日本経済の中核地として重要な役割を果たすようになってきたこと、およびその過程で起こってきた地域構造の変化について紹介し、最後にこれからの方向について討論をまじえて考える。								
到達目標	①関東に関する基礎的知識を総合的に習得できる ②地域を観察するための多様な技法について知ることが出来る。 ③地域環境を科学的に理解することの意義について認識が深まる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。各自の出身地、あるいは関心を持つ地域について、普段から情報収集に努め、講義で取り上げる話題や問題に対して、積極的に意見を述べるように準備しておくこと。								
授業計画	【第1回】はじめに 【第2回】環境・文明史のみかた－日本の中の「関東」－ 【第3回】関東の基盤としての自然風土の構成 【第4回】縄文・弥生・古墳文化の痕跡 【第5回】古代国家による「関東」の支配 【第6回】関東の時代に向けた助走期 【第7回】近代化で迎えた関東の時代 【第8回】高度経済成長期以降の変容 【第9回】国際化時代と関東の魅力形成 【第10回】関東に住む人々の地域形成の原理 【第11回】首都・東京を中心とした圏構造の形成 【第12回】自然の違いを反映する関東の土地利用 【第13回】2020年に向け変化する関東の地域構造 【第14回】関東の新しい役割と課題について《討論2》 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	テストまたはレポート（80％）と授業への取り組み姿勢（20％）による。								
フィードバックの内容									
教科書	毎回プリントを配布する。								
指定図書	『地域の創成と文明の開化』宮川泰夫（大明堂）2002年、『関東Ⅰ・Ⅱ－地図で読む百年－』寺阪・平岡・元木編（古今書院）2003年、『日本の地域変貌』平岡昭利編（海青社）2008年								
参考書	適宜紹介する。								
教員からのお知らせ	地域環境学Aを合わせて聴講することが望ましい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									